



改革21

質問者

ふじいよしあき
藤井義明議員



所属議員

くらもとたかふみ
藏本隆文議員

財政危機的状況

資金不足・借入金過多・赤字運営

質 積立金の標準財政規模に対する割合が小さい方が資金不足、地方債残高の割合は大きい方が借入金過多になる。県下15市中の順位を尋ねる。

答 積立金は県下15市中最も低い数値（資金不足1位）となっている。地方債残高は15市中3番目（借入金過多3位）に高い数値となっている。

質 財政状況は悪くないとの回答だった。平成28年度から令和4年度まで、実質単年度収支が赤字か黒字か尋ねる。

答 令和4年度は実質の赤字収支が3億円だったと思う。手元に資料がないのでわからない。

避難対策ナシ！

子育て世代対策ナシ！

質 校舎建設後には、金浦中学校は避難場所となり、避難するためには道路の液状化対策は欠かせないと考えるが、対策を尋ねる。

答 現時点で周辺道路の対策工事は計画していない。

質 現在の校舎は耐震化され、教室へのクーラー設置、洋式トイレも十分ではないが設置されている状況である。土石流災害、内水氾濫の危険性がある場所に、約40億円もの建設費用をかけ校舎を今建設せず、物価高に苦しんでいる子育て世代のために、給食・保育料の無償化等にその予算を使うことはできないか尋ねる。

答 本市独自の実施は考えていない。

企業誘致最優先で

笠岡市は活性化できるのか



創政みらい

質問者

にしなふみひで
仁科文秀議員



所属議員

あまの きいちろう
天野喜一郎議員
もりおか さとこ
森岡聡子議員
くわだ まさあき
桑田昌哲議員
おおつき たかし
大月隆司議員
くりお のりこ
栗尾典子議員

質 市長は企業誘致が政策の第一目一番地と言うが、令和4年10月の市民意識調査では、新たな企業誘致で雇用が増えたと感じる市民は13.5%と少ない。仕事最優先ではなく、まず、まちがあつて、笠岡の魅力が高まり、本当に住みたい、移住したいまちになることが大切ではないか。すべての起点はまち。「しごと・ひと・まち」ではなく「まち・ひと・しごと」と考えるがどうか。

答 今までの市政が「まち・ひと」に投資してこなかったから「まち・ひと」が増えなかった。その「まち・ひと」に投資するための財源を企業誘致等で捻出し、再投資することで「まち・ひと」が増えていく予兆が今、社会動態の改善という形で見え始めている。

公共施設の経費削減と

施設の更なる有効活用を！

質 今年度、廃校になった今井小学校の活用はどうするのか、いつまでに結論を出すのか。

答 1階部分をまちづくり協議会と今井公民館で地域のために使うことで合意している。2階、3階は行政と民間の両方の利用を考えている。令和8年度には全体としての利活用をスタートさせたい。

質 市営住宅の整備計画はどうか考えているのか。

答 令和3年3月に計画を策定し、改善・維持補修・建替・廃止の4分類に分けている。園井住宅は60〜70年経過しており、住替えをお願いし、令和12年を目途に廃止する予定である。跡地は利用価値を考え、売却も検討する。